

超音波検査（腹部）

検査方法

超音波を対象物(身体)にあて、対象物の中から反射してくる超音波をコンピューターで映像化し、臓器の形態や血流動態を観察する検査です。臓器の大きさや形、腫瘍の有無、胆嚢や腎臓の結石などがわかります。ベッドに仰向けで寝ていただき、超音波の伝搬をよくするため、肌に直接温かいエコーゼリーを塗ります。必要に応じて体の向きを変えたり、息を止めて検査を行います。また、圧迫を加える場合がありますので、痛い場合はその場でお知らせください。

検査時間

おおよそ15分～30分程度です。
ただし、検査の種類・患者様の体格・体調などにより異なります。

その他・注意事項

- 検査時6時間前より食べたり飲んだりなさらないで下さい。
検査1時間前までに水に限りコップ1杯(100ml)程度は飲んでいただいても大丈夫です。
- お薬を内服・注射中の方は、医師の指示に従ってください。
- 膀胱に尿がたまった状態で検査することが好ましい場合がありますので、検査前1時間くらいは排尿を我慢して下さい。
- 乳児の方は、3時間前より絶飲食をお願いします。ミルクを飲ませながら検査をする場合もありますので、ミルクをご持参ください。